

ひまわり通信 26年11月

「クリスマスは教会へ」

いよいよクリスマスの時期となりました。街では既にクリスマス・ソングやクリスマスの飾り付けでいっぱいです。子ども達はいつもと違う周りの雰囲気ワクワクしているようです。幼稚園でもクリスマス会に向けて着々と準備が進んでいて、子ども達の練習の様子を見ていると私も当日がとても楽しみで今からワクワクしています。

さて、教会ではクリスマス=イエス様の誕生を祝う日として12月25日を迎えるのですが、4週前の日曜日から準備を始めます。その期間を「待降節」と云います(今年は11月30日から待降節です)。この期間はむしろ静かに過ごします。1年間の自分の生き方を見直し、そしてイエス様の降誕を迎えるためです。また、クリスマスの後は2週間に渡りイエス様誕生の喜びを味わいます。この期間を「降誕節」と呼びます。

24日と25日は教会ではクリスマスのミサが行われます。是非、クリスマスに向けて1年を振り返りながら少しずつ飾り付けをするなどして心を整え、そして、家族や親しい人と教会でミサに参加し、クリスマスを過ごしてみてください。きっと生まれ変わったような気分を味わい、特別な日となることでしょう。クリスマスは楽しんでハイ終わりではなく、心を整えその日を迎え、イエス様の誕生を思い起こし希望としていく日です。

園長 福崎

谷山カトリック教会 クリスマス・ミサ ●12月24日(水)19:00 ●12月25日(木)10:00

～日常生活の練習～

モンテッソーリ教育に「日常生活の練習」があります。その内容は、大きく4種類に分類されています。1つめは、基本的な運動(立つ・座る・歩く・運ぶ・切る・縫う等)。

2つめは、自分自身への配慮(身だしなみ・自分で顔や手を洗う・着脱・歯を磨く・髪を梳く)。

3つめは、自分の周囲(環境)への配慮(掃除・動物・植物のお世話・整理整頓)

そして最後にもう1つ大事な事は、祈り、そして礼儀やマナー・社会的なふるまいです。

社会で通用する端正な身のこなしをこの時期に身に付けてやるのは大切な事です。

ボンヤリと覚えているのと、きちんと意識して身に付けたことは全く違います。挨拶の仕方・物の渡し方・食事の仕方など、自分の手足が思い通りに動かして、段取りを考える事が出来る子どもは、大人になっていく上で基本的な事が出来ます。立つ・座る・挨拶する・片付け・掃除・宿題・翌日の準備など、この様な基本的な生活力は、小学校に進学するに必要不可欠になります。そして、幼児期に身に付いた生活行動の基礎的な力は、高学年で統合されて真の実力発揮の道を切り開く底力となっていきます。また、「日常生活の練習」を幼稚園だけのお仕事として終わらせない為には、時に家庭との連携が必要になります。なぜなら、基本的な生活習慣を身に付けことは、時間がかかります。時に褒めたり、励ましなが、諦めず、根気強く親子で付き合っていくきましょう。

主任 福留



～エンジェル組【未就園児クラス】～

「1・2・3・4・5～」今日は、お友だち〇人来てくれました。ありがとう」お名前呼びの出席確認の後、私は毎日ひとりひとりの顔を見ながら人数を数えていきます。お集まりに参加せず、お仕事に没頭している子、お母さんと離れられず抱っこされたままの子、声かけに反応せずうろろしている子、もちろん、「今から何をやるのかな？」と目を輝かせながら、一緒に数える子。色々ですが、毎日繰り返す事で、だんだん一緒に事が出来るようになってきます。

2～3歳は、発達差が著しいので、これがこの時期の子どもの本来の姿だと思い、それぞれに合った声かけをするように心がけています。人生初めての(たぶん)集団生活、最初出来ないのは当たり前です。入園するまでに、「座って先生の話を聞く」事が出来るようになると思います。トイレトレーニングも、エンジェル組で取り組んでいる事のひとつです。決まった時間に、みんなで一緒にトイレに出かけ、上靴を脱ぐ→スリッパを履く→

トイレに入る→パンツのおろし方→座り方→トイレットペーパーの使い方→流し方→パンツのはき方→手の洗い方→スリッパの片付け方。一連の動作を、細分化すると、援助の仕方も、ひとりひとり違います。モンテッソーリ教育では、教師は「教える人」ではなく、子どもを観察し自主活動を援助する人的環境と言われています。してあげるのではなく、出来た事の喜びを伝えながら、幼稚園生活に必要な習慣を身に付けていけるといいなあと思います。

毎日歌う聖歌を通して、神様のおめぐみの言葉を知り、「大好きなお父さん、お母さん、家族のみんなをお守り下さい」と祈りを唱える子どもたちの成長が楽しみです。

エンジェル組 堂園



第1回 給食人気メニューランキング!

1位・・・カレー(44票)

2位・・・スパゲッティ(42票) 3位・・・とりそぼろ丼(30票)

4位・・・うどん(18票) 5位・・・シチュー(13票)



子どもたちに、初めての人気給食のアンケート調査を行いました。総合ランキングでは予想通りカレーが1位になりました。「カレーのじゃがいもがおいしい!」「辛くておいしい!」「お肉が柔らかくておいしい!」「にんじんが入っているから好き」さまざまな声が聞かれ、家でも食べているから好きと答える子も多かったです。時にはカレーの苦手な子もいて「お肉が嫌だから苦手」「辛いから」などの声もありました。他に「五色そうめん」「からあげ」「デザート」の「ヨーグルト」も人気があり上位に入ってきました。なかには、「いりこ、いわし」の中の黒い所、おいしい!という珍しい意見もありました。「食べてみたい給食は何がありますか?」の質問に「オムライス食べたい!」「明太子ご飯・焼肉・カニ・ラーメン・ハンバーグ」と次から次にリクエストがありました。お屋前になりますと、「朝ごはんいっぱい食べてきたのにお腹すいた」「今日の給食にかなあ」「カレーだよ!いい匂いしてた」「早く食べたいなあ」毎日楽しみにしている給食。食材の旬を伝え季節感を出し、食への取り組みを園全体で行っています。Aぐみさんは、延長保育でのお料理活動の他に、お米作りをしました。稲穂→脱穀→粃すり→精米→炊飯まで経験しておにぎりをにぎって食べました。子ども達が「おいしい!」と言いつつ食べていた姿がとても印象的です。今後も自分の体に興味をもって、元気な心と体になる術を身につけて欲しい、その様な思いを込めて「食育」を行っていきたく思います。【福留】

Q1. 元気な心と体をつくるために大切な事は何?

Ans. ①よく寝る事 ②よく体を動かす事 ③バランスよく食べる事

Q2. バランスよく食べるってどういう意味?

Ans. ①炭水化物 ②タンパク質 ③ビタミン類を食べる事

【アンケート結果を聞いた先生方のコメント】

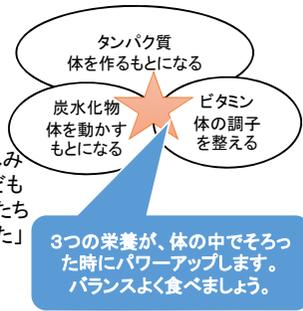
「ビビンバ丼・グラタン・キッシュ等いろいろなメニューがあり、とてもお昼が楽しみですが、やっぱりカレーが好きなんです」「私は、うどんが好きです。でも子ども達は、生活に馴染みのあるカレーが好きなんです」「先日のシチューに僕たちが掘ったお米が入っていたよ!おいしかった。と言っていたのが印象的でした!」

.....~考えていること~.....

年間1095食の内、約130食を給食で食べて体作りをしています。

約1/8ですね。今一番思っていることは、噛むことの大切さを今の時期に体に

すり込んで欲しいと思っております。給食を通してお友だちや先生と共に食べる喜び、食べ物への感謝。又、行事食や郷土料理を取り入れた食事で食文化にも触れる事になり、食べ物への関心は広がり、手触り・味・色・香り・噛む時の音などの五感を使い子どもの好奇心を刺激する時期が幼児期だと思っています。【食事とは、人を良くする事】空腹を満たす為の物だけではなく、人の心と体をつくる素になる事を少し意識してみませんか?よく噛んで食べる=噛むことの一歩の利点は、唾液がよく出るようになる。そのことで虫歯予防・歯周病の予防・ガン予防・脳を刺激。噛むために必要な筋力は、顎だけでなく、首筋・胸・背中にある12種類の筋を使って下顎を動かしているため、よく噛むとそれらのすべての筋力が運動し、丈夫な体を作り姿勢もよくなります。今の幼児期に噛むことの大切さを一緒に考えていきましょう。そして、実行にうつしてみましょ。【給食室 田中】



★モンテッソーリ教具って何?★

Vol.7 絵合わせカード



名前と絵が描かれているカードに、絵だけが描かれているカードを合わすお仕事です。また字が読めない子どもでも、絵を頼りに物の名前を知ることができ、又言葉を増やすことが目的です。お部屋には、「やさしい」「はな」「どうぶつ」「のりもの」などの種類の絵があります。先日「やさしい」の絵合わせカードをしたC組の女の子。「なす」のカードを見て、「なすび!」と言って嬉しそうに合せていました。字を「なす」とは正確に読めなくても、絵を見てその物が「なす」であると分かった様子が見えました。その子にとっては「なすび」という名前ですが、教師の言う「これは なす。」という声を聞きながら、少しずつ「なす」という物の名前を知っていくことができます。

Aぐみ・Aさん→年長児
Bぐみ・Bさん→年中児
Cぐみ・Cさん→年少児
Dぐみ・Dさん→満3歳児



学校法人カトリック学園 ひまわり幼稚園

〒891-0113 鹿児島市東谷山3丁目31-13 TEL:099-268-2340 FAX:268-2333